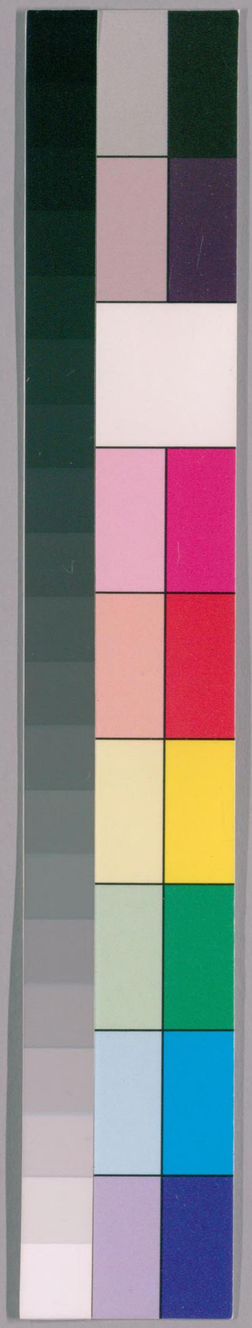
は
15
17



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

うけほ物語

樓の上 下の一

廿七

今板本五の巻ノ二

古本十七の巻

は
30
17

貴

東京圖書館

和書門
和文類
別九函
一〇架
4二號
三〇冊

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

三条右大臣殿の一条殿にまいどりしの給
面りし。はかくこく交むつへられ給ふ。いはいか給り
かめりとてありひくとりまたり給ふし。ありつ
西の一条にいる源宰相の
母殿さしんありくの年いまさしかぬまたりかへ
ふはこりしとやまた殿とりしつまたりしを殿お
たしてみつけ給ふ。公ゆくおりしうたりなとも
おとなむ給りし給いてこれいりをまさしろ
と給ふ。ほくしかはしてしかれとのこまへん。なのい此
こいとよ給ふ給り。気のおりしまり取り。おまさ
まてものし給ふ。おんれこもおくさうしくしさとこ

東京図書館
故柳原芳楚納本

伊達藏書

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

石作寺縁古事談ハ石
造きもあり太秦仏ア
ま音橋津国ゆかりおと
しまつまの松の樹あ
ひくらうちゃ
ま木をもて一様もま
の美多仏をつくり
てまつりて丹後ま石造
まるまつこのしりと拳
て丹後ま石造

しるしと山城名勝志に
いへり按に古事談謂
丹後国石造寺者誤以
宇都保物語属山城但
石作郷近丹波故誤為
丹後人傳写重妄者乎
[illegible]
[illegible]
三代実録云元慶三年
閏十月五音辛卯敕以山
城国乙訓郡公田五町
為元慶寺田而四段三百
十六歩返入石作寺
延喜式蕃察式云凡近
都諸寺東拜志以地西
石作以比停預講師僧
澗検察 拜志寺在紀伊郡
これをも返考れば山
城乙訓郡[illegible]
[illegible]石造と
[illegible]誤て石作陵を
造とあるは一処もあ
もてきて

うさたりしたまくんまうてさう。曉りはれ
いくぬどのにつかひのうさたりしてゆうりん
いとおくたりんゆ志(ハ行)はしき物しるぶくんはんん
くらし(下)とつんなりんよいさうをうきるぶき
坂のえ(ヤ)ところひよりをんくしさうはもめやはしたとて
のえさうしたうちうさ給れえ給んのとうんし
御堂
さやうのみれ(ン)に(ニ)物はくしき物はくしの御しのけしとうり
むくいけり給や。親(ヘ)ゆ志りおたはうとのうり志
られをりまんと申給へ。いとしたう給志うるぶか
かりなけくをみをるれと。つふ物りてありゆや
あらんあられるれまたりや。ゆやこと見を志

らさうひとされなんとうきえすふれとも。八九たうり
なりをのこ(こ)かしもよ(そ)ゆつうりまて。かりのり
られうら給ひとうをしさらしのすゆしのけこうね
れをころひこう給給て。志ろふ(うエ)うしけはなく
ようけうをたうけさう乃もすこうんふこうち
いてこのうこうたうりようを給へん。文(ふみ)給かりり
ふうり物(ん志)をていと給くふなまめくしうおいさやう
はさて給されをは物れいふ(い)いとうけうしをふ
ん給へん。みあるせ給くおつさしてまゆされ
まへは。うちしうを。あるとれりしうう。うふいと給
てなう物ふくれ給志。いつちそはな。

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

きこえさせ給へ。いとようはかせられそうり。
宴よりくてまゐられ給へ。ぬく、おそくしまゐなりくてを
つりの海の人とも無礼なるを、おとこ共をめして
まゐきん所にいるゆゑ、ゆそんとの給へ。いりかゝりしを、
いとれうしとみたまりみさまつる。人くのあるを
世むきまゐ所くよ。かゝるめくゆしき所ふ。なれ
とりゆ所まくゆ。めやをきくうくものせさ給まつるを、
いとうれしく見給つる。おとこうり給へたまし
まゐはいとものしき所やうよりゆり。これをは十四日
の御方ようまゐめや。いまは十日をこそうりおりし夜
きせんとれをしまゐへ。うちまゐらひ給へ。いとあやし

くきたてはまゐしき事なきくものきこゆるくむり
若
ゆりかりし時こそ。さまよひゆりくもめやを
くみまゐしくおもゐ人もまゐけめ。いまは
別れ給へをたれやうれ給ふ。うしもいときれは。
えゆりくゆし。おとこ
はいとれうしう。いとく人も世ふとくとてゆまお
ゐまし所事ありとの多へは多のしおくいるやは
ゐ所ゆとくいとれとゆもいてこそゆらめ。人くく
をつまくりなゆ給らんさてうらかよひ給へ。
れりせはなくなむまつれ。たゆをくは文ゆわい
ゆいとうりしくこそ。十文東つておりつこと

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

12
30
17

国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

宇津保物語

樓の上 下の二止

今板本五の巻ノ二

古本ト七の巻

廿八

は
30
17

東京圖書館

和書門

和文 類
別ぬ 九 函
一〇 架
今 二 號
三〇 冊

貴

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

東京図書館
故柳原芳梵納本

いかりたりしれとをんし給ふ御こゝろ御ありは御さりしかり
かり。いとかりしろう哀にかれん。いとをうしろう給ふす
と。大文の御事をこそなにすにもまつ御ハ思ひ
給ふに。稱さくとくもゆゝしうをしへなさせ
給ふ。かゝるなかんのゆくれ公うくをこれまへ給
ふかれ。うくせこそしのとれにしまへてうゝいと
ゆゝむまをいまてとれしまへ。いといかまれ
しうゆし給給いくとのこしいまふ。ゆゝしをに
を御ふも。御けしき給ひて。いと御ひてよろ
御とをてしまつりにこりの給ひてかうしをれく
しもおりしさせて。ゆゝつれなかりしも。うけ給ふ

東京図書館

詞うれうみこの二　廿八

（ツリアハ又ハ呉本之）

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

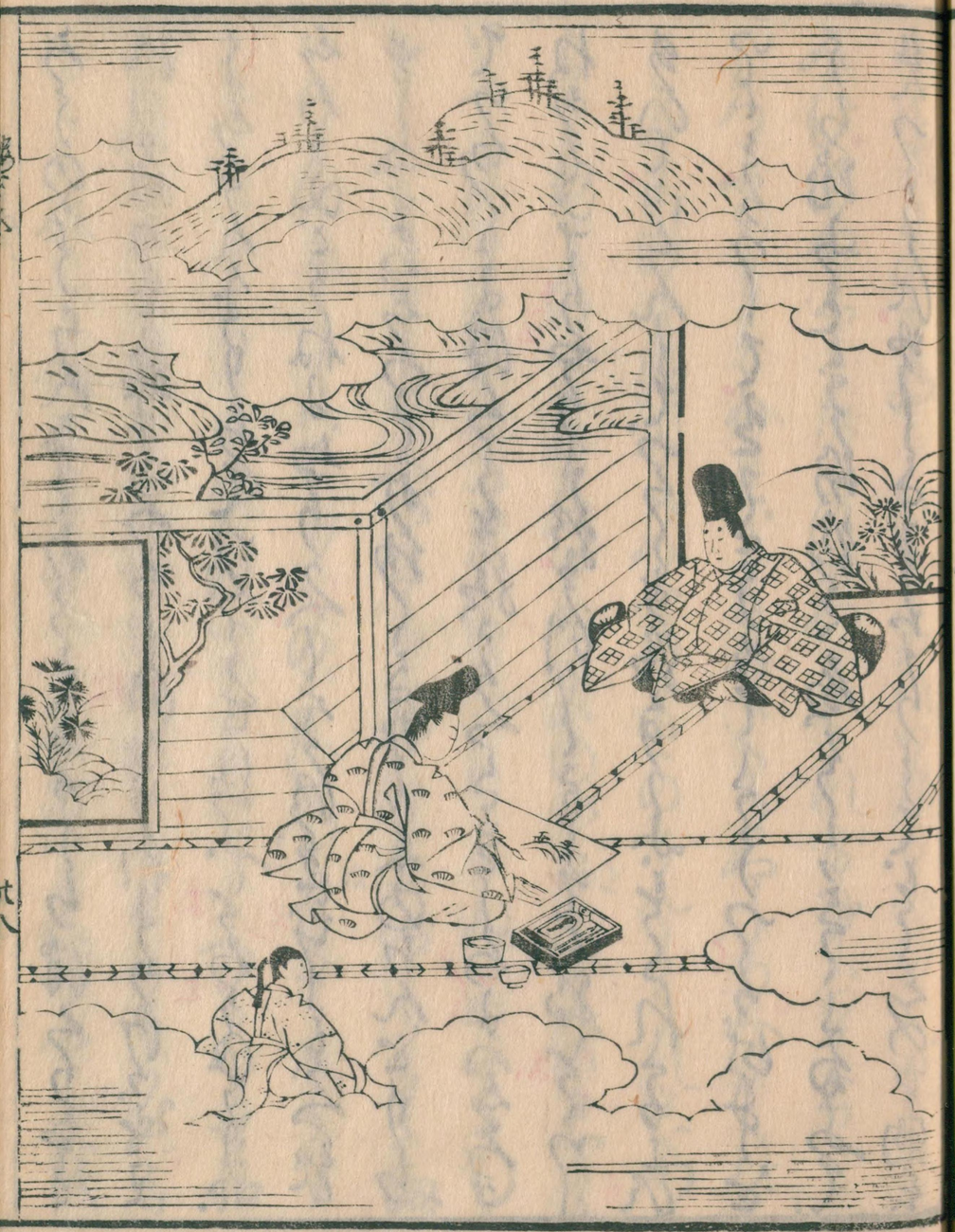
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

この家そこなりしとそこさしいてすへまはみ給しも
きれいふと衣にぬりへすへれ此ふくのやうしそ
大将
ちみちしをつんしもかれしき二方さしに成る海乃
うそれになれ（さ）ハなりれんなときあくあくいて給
ぬ大将ハ此とくもいとゆかしう大殿につきなり
てハこの殿を天下にの人もしこうこのことなり
まつりつとひなりまも物の給へれと思つり一定
ひ（イ一両）
ゑ定と思ひなあそひし給れくらひくにあり海
さなやうにかたらはいみし給ひしうち給ひ
きもおくんにもみなとれ（れ）ようの川のまはれ
あまれぬ御しおくにもいまのかとくつりにて
おかせさりきんと思ひしふ無なさ海なりしに
給れめのと又人定乃君く思ん（源）しれきことも（氏）ぬりん
ちぬし（らぬ）めのとこの人ぬれし程ふくふをみ人な
なもをゆひこめにきせ給てれあそひのこ（ぐ）ぬてく
ふら
かせこ海ふられすりかりの人ぐくぬハみをなり給ひ
十二宮さうか女御殿とハみさうにまつり給ひ
ハ物ちれとくゆしうりきあく給へとさくらに
うせなり給つて物やきもかのようさしまふ文
きり海りしうち給へとううのうま戸給ふ物あ
けるうてまつりふくふ戸給京うくにれりして志
川うふ見ありきまふに世中にきとあり（る）れ（木）
なもうらうち給はらしてきりろうしにもきる

ものくさおりしく。花紅葉にめつらかれたる。末苔にと
ものさしの紙さへうへあれまつりけるもやまなり不
よいと拾りしろくなるにとも人あらぬ拾ひたり。ひとく
せいたくなりまそれをたりしろしとみる給しか。
のとらにい海の給よりしろとしろなしとしへさるいと
れいろくのあけあい屋にしいとたりしう。めつらか
なりと。しそて拾れたりまる。さらにとりうこりしな
紙をつきにもあらさりそりしこそまふ。治部卿は
ろかのまなりみたり。其のちに大雜しけ
れくまらいみてのむこなりしかこのいまもとな
しられ家とて。いまのよれ拾りしろき所にはいひしく

其ならなりこれ三月十よ日ころつくなへきりし
をまりれかみ文の御めのとしかしたり拾
世給ふこのまいにしあんかしのさいことうりしく
ようりまり。四めんにかれのくにはろれかへぬられ
へんかり。これにしのまいのみなしのたしにあつ
さ御のしさかけて。むかしのちりをまれあとのまく
に金にたらしてより。みるまの山乃ちなれ木
とものまに。ぬるしのみうしをまれなしにら
れうらぬなしに。そらまちにはろへしにしあん
りしにならひて。ぐられいて列のなりしいとそうれ
まりしとそくさみるまにかしかくへし。



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

なりぐくてまうて給ぬ。いぬこやの所方にはゆるし
母屋
りやのめしにぞふちいされ。きちやうしてくし
つゝひまつり。ちいされんくさしやうなりごゆりこ
うちいうり。ほてのあやれひとへのくろれよりさし
いてまつる。いとうれくしきよおりにぢこえ芸来ゆ
れといぬこやと。いくこうち給ひ。うれ
ち給てうち給ひ。うれしつけくはしれ。いと
いひかひなれほとも人かな。りれたるあしをとにはん
あらしやとの給へん。ゆるなともきよとてわふ。
あしやうはいぬ。えよきてまふ。ゆりしくしてまま
ふさんなくはいうくまつらんとものまふより。いと

うれしとゆれしてえこまへ。いとしたるやうにみ母は
しう。あいさやうこゆりたうりぬくおりゆるを。いと
うれしとこなり給。さむなるうせ給ひて。えよは
さうせしてまんくぐぬむなるひとゆふへさ
いとゆとしろうおりしなさうよぬくなりて。
うんのゆとくはおくしましてしなむ屋しのこまへはさり
とこえおりせくはいうそしてしまへは。いと
おしくさてはふあしはしたくへよりくへようせて。な
うくうんのゆくなむ。人よをしへ給ひ。しりし給ん
しまりいゆ。たりしませさくしくひきとり給ひん
給ふ。えはおくしましなむとゆしましへは。さくは

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

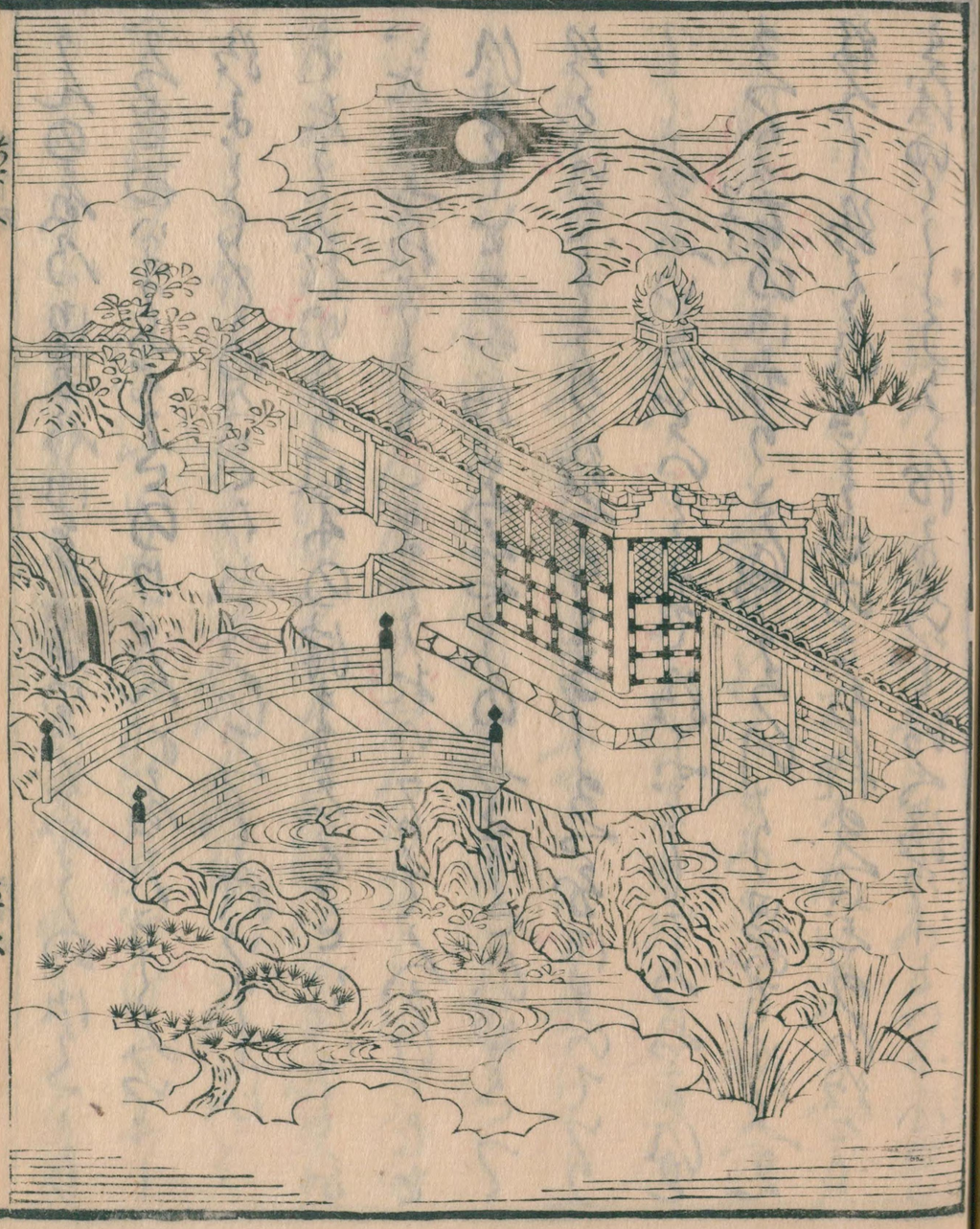
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

とのまへハ、たゞ何よとてよろかひにさふれぬ。内より
ぬくまゝふかりとて。唯今ハ御色ハ給ふる海
しを侍り。いるれハといふ。ちゝ上
もふこそ思ひ給ふ。いふ夢もかゝる事ハ屋ふな
ゆゑのむまゝふくうちとけしほまゝ。いとおしくて。
えみとし御ひ。ちゝ上あやのるてしこうさ御ひそな
かふさ河ひのあり地乃かゝさぬ。うへ地のちはりも
ちゝ海ひとく大将の御色とりていくまゝり。かゝる乃
むくされのしはしにて。あまゝにてさ程よつきさ
まゝり。ぐらゝ人ゝこれ河しハうこうれ御侍り。みれり
ろきまふこのハこのむしのやうにくや。むくめれ

もくこれ神代記下
透通

いゝ人ゝ。ふ猶よ。うちうちぬと
夜の河しハむしさめ給ふ。ぬしとなれむ
つしくかきていふん。蔵人地とかくてそや
とく
河さゆふ。むてりみゝしやくかゝ。ぬ所ハ明く。ほ
ぬかけに屋ゝのむしゝことゝりくとてふきてたゐ
れもこよひ御ひいきんうちにとりしかりしゐもま
らひ給ぬ。ふそ時ましよりつきぬを地とかうけハ大将人
めして車にいまさせ給ふや。うんの夜ハ御色りこ
まりて給ふせつる哥ひのよ。上ケテカクヘシ。なりれてきよ給ふれ
行のまゝ出れよしてむしさふなまゝそそきをる。

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

は
30
17

くてとうそんのうらなれさ
まそうてつてみそうしを
つそうしよりをもそうか
なしにやめそてくらなれそうし
のそえみそうてみて
つそうそうそくそうもの
のそれまにてそうもみこう
なそうくおそのはみくそ
しそうしてつそくそみそうと
つまくいみそまそはそうもふそくく
地のはそんまそれそれそのそれ

やそんくのみそまいまいまい

は
15
17
特別

国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用